

令和3(2021)年度事業報告

自:令和3年4月1日

至:令和4年3月31日

前年度に当協会の創立 30 周年を迎え、一年かけて理事と各部会で協議を重ね今後 3 年間を見据えた「SIIA アクションプラン 2021」としてまとめ上げた。その結果を年度冒頭に「宣言」として発表することになった。

その結果本年度の事業は、「SIIA アクションプラン」に沿って各部会の活動を中心に、時に各部会が連携して推進する計画が、本年度も引き続きまん延が治まらない新型コロナウイルス感染症の影響により、予定変更あるいは中止を余儀なくされ、また会場における対面開催事業のすべてがオンライン開催となった一年となった。

- (1) 人材育成・教育研修事業(新技術普及促進・教育研修事業・情報化支援事業)
- ① 内閣官房地方創生テレワークにかかる動向、政府施策及び各自治体、地元産業(情報産業)への期待、今後の展望について、をテーマに講演会を開催した。
(参加 21 名)
講 師:内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局参事官 野村栄悟氏
実施日:令和3年5月21日
会 場:静岡商工会議所及びオンライン開催
 - ② 静岡大学との共同事業で「オブジェクト指向設計講座」実施
前編として、「デザインパターン入門編」を開講し、設計・プログラミングの実践的なスキルを習得するための静岡大学情報学部オリジナルカリキュラムを技術者向けに提供した。(参加 10 名)
講 師:塩見彰睦氏(静岡大学情報学部教授)
講 師:野口靖浩氏(同准教授)
実施日:令和3年10月25日~27日(3日間)
会 場:静岡大学 静岡キャンパス教室
収 入:370,000円
支 出:990,000円
 - ③ 静岡大学との共同事業で「オブジェクト指向設計講座」実施
「テスト設計とテスト駆動開発入門編」を前編に引き続いて開講した。(参加 10 名)
講 師:塩見彰睦氏、野口靖浩氏
実施日:令和3年11月29日、30日、12月1日(3日間)
会 場:静岡大学 静岡キャンパス教室
収入/支出:②項と合算計上
 - ④ 会員ニーズセミナー「最新のクラウド動向について~AWS の基本から具体的な活用例まで」実施 (参加 23 名)
講 師:小木氏、コーディネータ:松下氏、静岡担当営業:服部氏 (アマゾンウェブ サービスジャパン(株)=AWSJ 社)
実施日:令和3年11月4日
会 場:オンライン開催
支 出:AWSJ 社より無償提供

コメントの追加 [横井1]: 講師⇒准教授

コメントの追加 [横井2]: ④⇒②

⑤ 会員ニーズセミナー 「～“契約のデジタル化”への対応を考える～『電子契約』の導入状況と最新の動向について」実施（参加 22 名）
講 師：大泰司 章氏（合同会社 PPAP 総研 代表社員）
実施日：令和 4 年 1 月 24 日
会 場：オンライン開催
支 出：80,000円

⑥ 会員向けハンズオンセミナー 「AWS 技術講座入門編 ～座学とハンズオンで AWS の基本を学ぶ～」(参加 10 名)
講 師：アマゾンウェブサービスジャパン(株) ソリューションアーキテクト
実施日：令和 4 年 2 月 3 日
会 場：オンライン開催
支 出：AWSJ 社より無償提供

⑦ 「高校生と企業交流会」実施
次年度に実施を計画している「高校生向け ICT 企業講座」の導入部と位置づけ、島田商業高校情報ビジネス科・情報処理部の生徒と SIIA 会員企業の社員とのオンラインによる交流会を実施し、ICT 業界の現状など高校生の現状認識を新たに作る機会を設ける予定が、度重なる「新型コロナ感染症まん延防止措置」の影響を受け、最終判断により次年度に延期となった。

⑧ 国内視察
新型コロナウィルス感染に伴い、海外から国内へと視察先を変えて考え、検討してきた。その中で、静岡県内でも実施できる「ワーケーション」を体験することを企画し、2～3月の実施で検討を進めてきた。しかし、新型コロナウィルス感染の第6波が起り、実施を見送ることとした。「ワーケーション」については、次年度実施を予定している。

(2) ビジネス・マッチング事業(産業再生・創出事業)

① 会員企業の自社の得意技などの発表機会を活用し、会員企業交流セミナー及び会員交流会を開催する企画は、新型コロナ感染症の影響を受けて開催が延期されたものの、11月に第1回、翌年1月に第2回目の開催を実現した。但し、「会員交流会」については、新型コロナ感染症まん延防止の主旨に基づき実施を断念した。

第1回：(株)建設システム 令和3年11月30日

会 場：静岡商工会議所 401 会議室

発表者：重森 涉氏(代表取締役)、日向亮一氏(経営企画部長)

参加者：35名(会場24名、オンライン11名)

第2回：(株)エル・ティー・エス 令和4年1月

会 場：オンライン開催

発表者：漆畑晃司氏(ITSM Outsourcing 部長)、野田翔太氏

参加者：28名

支 出：243,730円(ハイブリッド開催用音響機材)

② 「Kintone Café」開催

昨年度に引き続き、「欲しい時に欲しい機能を自分でつくる、業務効率化アプリ開発ツールサイボウズ Kintone を始めてみませんか」のテーマで、「Kintone」で実際にアプリを制作することを主題とした交流会「Kintone Café」開催を予定したが、度重なる「新型コロナ感染症まん延防止措置」の影響を受けて次年度に延期となった。

支 出：10,890円(Kintone 年間ライセンス料)

- ③ 「会員交流サイト」の構築
ビジネス・マッチングの機会を創出するための「会員交流会」の開催と併せ、会員企業の「イチ押し」情報などを掲載し、会員交流に資する情報提供を目的とした「会員交流サイト」の企画及び実際のウェブサイト基盤の構築を行った。
この事業については次年度も継続し、会員企業からのコンテンツ提供により内容の充実を図ることを計画している。
支 出:286,000円(初年度会員交流サイト基盤部構築費)

(3) 人材育成事業(人材開拓推進事業)

① 「静岡大学夏季インターンシップマッチング会」

実施日:令和3年6月17日

参加者:4名

会 場:オンライン開催

支 出:44,000円

コメントの追加 [校井3]: 「支出:44,000円」を追記

② 「夏季インターンシップ」実施

実施日:令和3年9月8日~9日

参加者:1. 参加企業 6社(株エル・ティー・エス、(株)建設システム、(株)静岡情報処理センター、島田 ICT コンソーシアム、東京コンピュータサービス(株)、(株)ユニテック)

2. 参加学生数 6名

会 場:オンライン開催

支 出:124,300円

コメントの追加 [校井4]: 欄の位置修正

③ 国内同業種団体への人材開拓事業に関する聞き取り調査(すべてオンラインによる)

1. (一社)宮城県情報サービス産業協会(MISA)

実施日:令和3年4月30日

参加者:MISA 高谷将宏氏(MISA 人財確保 G 副 G 長)

SIIA 渡辺篤部会長、宇賀田栄治理事・副部会長、小林博典副部会長

2. (一社)情報サービス産業協会(JISA)

実施日:令和3年5月

参加者:JISA 増田菜里子氏(採用コミュニティ担当)、手計氏(人材担当)

SIIA 渡辺篤部会長、宇賀田栄治理事・副部会長、小林博典副部会長

コメントの追加 [校井5]: 副理事長⇒副部会長

3. (一社)神奈川県情報サービス産業協会(KIA)

実施日:令和3年6月3日

参加者:KIA 色川直人氏(事務局)

SIIA 渡辺篤部会長、宇賀田栄治理事・副部会長、小林博典副部会長

④ 文科系大学生向け「ITパスポート取得講座」実施

講 師:静岡産業技術専門学校教師(3名)およびコーディネータ(1名)

実施日:令和4年1月24日~3月14日(計8回開催)

参加者:1.オンライン受講 29名、2.オンデマンド(動画視聴)受講 598名(延べ人数)

支 出:585,000円

⑤ 大学生向け「静岡IT企業研究」講座開催

実施日:令和4年2月18日

参加者:1.参加企業6社(株エル・ティー・エス、(株)建設システム、(株)静岡情報処理

センター、島田 ICT コンソーシアム、東京コンピュータサービス(株)、(株)ユニテック

2. 参加学生数 申込み41名中当日参加 29 名

支 出:143, 000円

コメントの追加 [桜井6]: 関の位置修正

- ⑥ 「LMS(e ラーニングシステム=学習管理システム)」調査（次年度「ITパスポート取得講座」等のオンライン学習に備えたクラウド型LMSの調査

実施日:令和4年3月中

支 出: 44, 000円

(4) 事業総括

本年度も、新型コロナウイルスまん延の影響で、年度当初の定時総会は「ハイブリッド開催」に変更し、会場での対面形式に加えてオンラインで併催することにより、初の試みながら総会後の記念講演も含め無事に終わることができた。

人材開拓推進部会では、従来実施していた大学生向けインターンシップ事業や合同企業フォーラムが期待したほどの成果が見られなかった。そこで本年度に入って国内の同業種団体への聞き取り調査を行い、本年度の計画を見直した結果、文科系大学生向け「ITパスポート取得講座」を実施することになった。

本年度初の試みとなった「ITパスポート取得講座」は、予想以上の成果を上げることができた。この結果、次年度以降は社会人向け講座として「ITパスポート取得講座」以外にもカリキュラムの幅を広げて継続事業化する可能性を見出すことができた。

一方、各部会で計画していたセミナー及び講習会も対面形式での開催は困難となり、一部を除きオンラインでの開催に移行あるいは次年度に繰り越した事業もあり、今後に課題を残す結果となった。

(5) 会議交流事業

会議及び事業企画打合せ(企画)開催実績

通常総会、理事会、運営委員会、事業部会を年間事業計画に従って開催した。

総会会議費:220, 000円

理事会等会議費:157, 740円

① 総会

5月21日…通常総会

② 理事会、交流会

4月20日 理事会

5月18日 〃

6月29日 〃

7月28日 〃

9月29日 〃

10月27日 〃

11月30日 〃

12月21日 〃

1月25日 〃

2月22日 〃

3月22日 拡大理事会

③ 運営委員及び事業部会

4月20日 事業部会・運営委員会
 5月18日 事業部会・運営委員会
 6月29日 //
 7月28日 //
 8月24日 //
 9月29日 //
 10月27日 //
 11月30日 //
 12月21日 //
 〈令和4年〉
 1月25日 //
 2月22日 //
 3月22日 拡大理事(運営委員)会

(6) 地域連携事業

- ① JISA (情報サービス産業協会)の会員として活動し、地域高度化事業助成に静岡大学との共同事業で「オブジェクト指向設計講座」の「デザインパターン入門編」及び「テスト設計とテスト駆動開発入門編」で応募して採択された。
 収入:300,000円(補助金)
 支出:250,000円(JISA年会費)

- ② 他組織の企画を協会員に対して情報提供や事業協力を努めた。
 ・SIIA ウェブサイトから随時催行情報などを会員ならびに地域などに向けて発信し、SIIAの周知を図った。
 ・県および市ならびに静岡商工会議所の関連事業(地域企業デジタル化推進特別委員会=久保田理事長が理事就任、情報文化部会)に参加・協力した。
 ・国、県、市など行政に関する情報をSIIA会員に適時メール配信した。
 ・情報サービス産業協会(JISA)はじめ県内外の情報関連団体の情報受発信に務め、必要な情報を適時SIIA会員にメール配信した。
 ・県、市に関わる諸団体事業への協力(しずおか男女共同参画推進会議、ふじのくに i-Construction 推進支援協議会、IT 推進コンソーシアム、しずおか DX コンソーシアム、富士山静岡空港利用促進協議会、静岡市公衆無線 LAN 事業協議会等)
 ・大学生向け就職情報サイトをSIIA ホームページ上にリンクを張り、情報会員企業情報の提供を行った。
 支出:12,500円(静岡商工会議所年会費)

コメントの追加 [横井7]: 静岡市商工会議所⇒静岡商工会議所

(7) 広報事業

- ① HP プロバイダー料:66,000円
 ② HP 運用管理・コンテンツ保守:605,000円

2. 会員数:令和4(2022)年3月末現在
 66 会員

<会員種別内訳>

ICT 会 員: 31
 一 般 会 員: 20
 個 人 会 員: 1
 会費免除会員:14